



[令和 7 年 7 月 9 日 定例会発表要旨]

「手稲と私」(歯医者さん)

ホワイト歯科医師 内山 明範 様

ホワイト歯科の内山です。皆様今日はお忙しい中誠にありがとうございます。
ました。

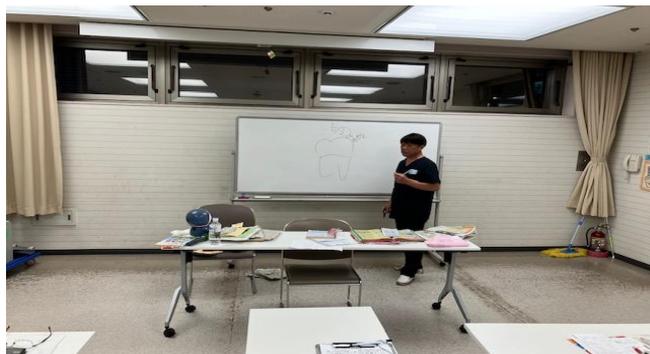
まず感謝させてください。菊池博行様、今回は手稲に関して全く無知な私にこのような立派な場を設けていただき誠にありがとうございます。又、今日ご来場いただいた皆様方に私のような者を育てていただくという気持ちに感謝しております。

上仙学元事務局長様。上仙さんとはホワイト歯科の患者さんと歯科者という関係で 30 年間お世話になっております。歯科治療にお見えになれない時も電話を頂き「元気？上手くいってる？」と、何かと気にかけて応援、ご指導いただきました。本当にありがとうございます。

ここで、今回私が郷土史研究会にお声をかけていただいて改めて手稲について様々勉強しました。一部ではありますがここに書かせていただきます。

元々、手稲は海の底だったようです。「手稲」という名前の由来は湿った土地で、山々からの雪解け水、雨水が下がって土地が濡れている(泥炭地)。

又、手稲以外にも札幌市内、近郊、北海道内にはアイヌ語由来の地名が多く残っていることも知りました。札幌とは乾いた大きなところ。隣町の琴似は窪んだ所。茨戸の広い沼。特に興味深かったのは江別の「チョウザメのいるところ」。これは石狩川にかつてチョウザメが生息してた証ですね。アイヌ語による北海道内各地の地名は大変興味深く、歴史を知る手掛かりになると改めて知らされました。



手稲について他に、札幌市内で一番美味しい水道の水は星置川からとった水と聞きました。

流れ星が落ちてできた川なので星置川。そのショックでできた滝が星置の滝・・・浪漫のあるお話

です。そんな手稲は札幌市内の隠れた水の都。河川がたくさん流れています。新川、星置川、軽川、中ノ川、三樽別川、etc・・・

「手稲こども郷土史祭り」

8月15日(金)から8月17日(日)までの午前11時より午後4時までイオン手稲駅前店1階広場にて開催いたします。

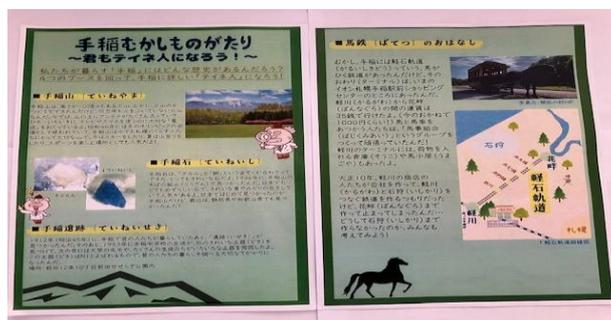
今回のタイトルは **手稲むかしものがたり**
—君もテイネ人になろう—

手稲山、手稲石、手稲遺跡、馬鉄等について、子供対象にクイズを出題し全問正解した子供に「こどもものしり博士」の称号を与える等のイベントを予定しています。

各ブースではお絵かき(手稲遺跡)、手稲石を探す(手稲石)等の企画を予定しています。

今回の「手稲こども郷土史祭り」には、イオン株式会社様と北海道科学大学の学生の皆様にご協力いただいております。

以下チラシです。



会員の皆様、イベントの立ち合いのご協力よろしくお願いたします

—お知らせ—

「たゆまざる歩み」第2巻

創会20周年記念として、当会会報「郷土史 ていね」の101号から200号までを合冊し「たゆまざる歩み」第2巻の発行を9月末をめどに準備しています。

9月10日(水)の例会の研究発表について、予定しておりました鈴木清土さんが病気療養のため茂内義雄特別顧問に変更になります。

次回定例会 9月10日【水】 18時15分 区民センター3階視聴覚室

発表内容 「日本石油製油所について」 手稲郷土史研究会 特別顧問 茂内 義雄

手稲郷土史研究会 会報「郷土史ていね」第208号 令和7年8月13日発行

発行責任者：沖田紘昭(手稲郷土史研究会 会長) 編集：菊池博行・伊藤政克

❖006-0818 札幌市手稲区前田8条11丁目4-5 林俊一方 手稲郷土史研究会

*TEL 090-3381-4994 *FAX 011-682-9874

❖メールアドレス teinenorekishi@gmail.com 担当 菊池 博行